

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	くさぶえの家	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員24名） 契約者数 29名（平成29年3月31日現在） 自立訓練（定員 6名） 契約者数 0名（平成29年3月31日現在）																																							
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>122,336千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>115,845千円</td> <td rowspan="8">-319千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>76,439千円</td> <td>人件費</td> <td>67,099千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助</td> <td>28,969千円</td> <td>事務費</td> <td>13,830千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等</td> <td>7,228千円</td> <td>事業費</td> <td>5,048千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>1,394千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>29,868千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8,306千円</td> <td>施設整備等</td> <td>6,810千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>122,336千円</td> <td>合計</td> <td>122,655千円</td> </tr> <tr> <td colspan="5">※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</td> </tr> </table>	収入		支出		収支差額	福祉事業活動	122,336千円	福祉事業活動	115,845千円	-319千円	給付費	76,439千円	人件費	67,099千円	川崎市独自扶助	28,969千円	事務費	13,830千円	指定管理委託料等	7,228千円	事業費	5,048千円	拠点区分間繰入金	1,394千円	拠点区分間繰入金	29,868千円	その他	8,306千円	施設整備等	6,810千円	合計	122,336千円	合計	122,655千円	※端数処理のため合計が一致しないことがあります。				
収入		支出		収支差額																																				
福祉事業活動	122,336千円	福祉事業活動	115,845千円		-319千円																																			
給付費	76,439千円	人件費	67,099千円																																					
川崎市独自扶助	28,969千円	事務費	13,830千円																																					
指定管理委託料等	7,228千円	事業費	5,048千円																																					
拠点区分間繰入金	1,394千円	拠点区分間繰入金	29,868千円																																					
その他	8,306千円	施設整備等	6,810千円																																					
合計	122,336千円	合計	122,655千円																																					
※端数処理のため合計が一致しないことがあります。																																								
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自閉症の市内唯一の専門施設として行動障害等に伴う重度の利用者を積極的に受け入れ、障害特性や個別ニーズに応じた支援プログラムを専門知識を生かして提供し、様々な課題のある自閉症者が地域で自立した生活ができるよう取り組んだ。</li> <li>・利用者主体のサービス提供を目的に「利用者の会」を発足し、提供するプログラムや環境について意見交換を行った。また、施設利用満足度調査の書式を変更したが「設問が明快になった」との評価を受け、多くの意見を把握できた。満足度は前年度の93%から96%に上昇した。</li> </ul>																																							

3. 評価（評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・自閉症者の症状の特性を「苦手」と捉え支援を行い、その「苦手」の軽減のための「わかりやすさ」を大切に、障害特性に配慮した作業・体操を提供した。生活介護については、自閉症の障害特性、個別ニーズに配慮したプログラムを提供。また、作業においても、障害特性に配慮した「始めと終わりがわかりやすい」作業種を提供しつつ、授産だけに偏らないようにし、集中力・持続力・達成感・コミュニケーション能力などの獲得につながるプログラムを提供した。 ・前年度から要望のあった「年間の作業の「お疲れ様会（納会）」を開催した。近隣の小学校の体育館を借りて行うが、利用者が年度の切替えを学び、地域交流も含む支援となった。 ・定着支援を手厚く行っており、地域の自閉症者や関係者に対しさまざまなフォローアップをすることによって、「卒園しても支援してくれる」という安心感につながっている。週に一度定期面談として施設に利用者が訪れ、また家庭訪問を月二回ほど実施。また「自閉症実践療育講座」や「くさぶえ文庫事業」など関係者や周辺地域に対して、障害特性の知識と理解を周知する事業を実施。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・法人の定める「契約の手引き」に則り、入札・見積もり合わせを行ったほか、コスト削減の取組を行うことによって、予算内で執行を行った。 ・定員を上回る利用者の受け入れ等により、ほぼ当初予算どおり収入があり、収支は概ね均衡している。 ・法人の経理規程に則り適正に金銭管理を行った。内部監査を受けたが、重大な指摘事項はなかった。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに利用者の会を発足した。会長・副会長は利用者の選挙で利用者自らで決定し、プログラムや環境について意見交換を行い、意見箱の活用と合わせ、利用者の声に対応した。</li> <li>市内特別支援学校教諭・家族・生徒の施設見学を受入れ、様々なアドバイスをを行った。また、職員全員が見学者に対し、同様の説明が出来るようにし、業務に繋げた。</li> <li>施設利用満足度調査において、行政からの「誰が回答したのか不明である」という指摘に基づいて回答者の記入欄を設け、障害特性に配慮したくさぶえの家独自の調査書を用いて調査した。意見欄を設問ごとに設けたことで、運営の参考となる多くの意見を収集でき満足度が上昇した。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	5	5
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	4	4	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修については、施設内や法人内の研修受講にとどまらず、県連合会の実践報告会や全日本自閉症支援者協会全国大会などにも出席するとともに、市内の通所施設としては唯一、市の強度行動障害支援者養成研修の企画・検討に参画した。また、全日本自閉症支援者協会主催研修の研修生の受け入れなどを行っており、受け入れるチューターの支援力向上にもつながっている。</li> <li>実習生、見学者の受け入れに際しては、全職員が自閉症療育について同等に説明できることを目的とした資料を作成し、標準化した説明が業務の可視化に寄与している。</li> <li>年六回の災害訓練、「未長こどもセンター」と合同での避難訓練と水消火器の使用訓練などを全員参加で行い、利用者・職員の安全を守るための対策を図っている。</li> <li>新人職員配属時のチューター制度、専門書籍の利用による人材育成、各種業務マニュアル整備による標準化、「グッドジョブボード」によるモチベーション向上の取組を継続実施するとともに、新たに職員が行っている送迎を一部外部委託したことによって、職員が支援に集中できる状況を確認した。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種保守点検等について適切に行われ、老朽化備品の購入や、施設内全体の修繕も的確に行っている。</li> <li>毎日の清掃は業者に委託しているが、環境整備の担当職員を設け、6月及び年末には職員・利用者が大掃除を行った。また、植栽の剪定、力を入れている花壇の整備を行い、美化活動にも努め、地域交流にも貢献している。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E,標準:・C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・自閉症専門施設として、高い専門技術を持って様々な利用者の自立生活を目指し多機能型事業を実施している。市内唯一の自閉症専門施設であることから多くの他機関へ指導を行う役割を果たしている。また、地域に暮らす自閉症者・その関係者に対して普及啓発や障害特性について助言を行い、自閉症療育の専門知識を生かした支援をしている。
- ・利用者に対する丁寧な支援から満足度率がとても高い。また、常に地域交流を図ることを高く意識を持って事業を行っており、地域の障害者の福祉に貢献している。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・利用者の出奔があったことを踏まえ、今後はそのようなことが起きないように、より一層個々の利用者の行動を想定した支援を行うこと。